

2017年11月19日

## 福音書からのメッセージ

主人は言った。『忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ。』

(マタイによる福音書 25 章 21 節)

イエス様は、「天の国は次のようにたとえられる」と語られます。

ある人が旅行に出かけることになりました。そのときに彼は自分のしもべたちに自分の財産を預けました。一人には5タラント、一人には2タラント、そしてもう一人には1タラントを預けます。そしてその額は、それぞれの力に応じたものだったそうです。

タラントとは当時、その地域に流通していたお金の単位です。1タラントは6000日分、つまり16年半の賃金に相当するので、かなりの額になります。1日の賃金を計算しやすいように1万円とすると、1タラントは6000万円、2タラントは1億2000万円、そして5タラントはなんと3億円という大変な額です。

もしもそれだけのお金を預けられたとしたら、どうでしょうか。自分のお金ならまだしも、主人の財産です。株や先物取引に投資して失敗したら、それこそ背任罪に問われることでしょう。

しかし、5タラント預かった人と2タラント預かった人は、それぞれ預かったお金を倍に増やしました。主人はとても喜びます。しかし1タラント預かった人は、それを地の中に隠してしまいます。「盗まれたら大変だ」と思ったのかもしれませんが。彼は預かった1タラントをそのまま主人に返します。その行為に怒った主人は、そのしもべから預けておいたタラントを取り上げてしまいます。

さて、タラントとはお金のことだけを



意味しているのでしょうか。タラントは英語の「タレント」の

語源です。タレントとは、才能や技量という意味を持ちます。

神さまはわたしたちに多くのタラントを与えてくださいます。この「タラント」とは、「賜物」のことです。わたしたちは神さまから、どのような賜物を与えられていますか。なにも特別な技量や才能だけを意味しているわけではありません。他人に対して笑顔で接することができる、隣の人の涙に心から共感できる、傷ついている人のそばにすることができる。それらもすべて大切な賜物です。

1つ1つ数えてみますと、1タラントなどでは足りないほどの賜物を、わたしたちは神さまからいただいています。しかしわたしたちは、その賜物を地の中に隠してしまっていないでしょうか。与えられた賜物を、神さまのご用のために用いているでしょうか。

まず、自分に与えられた賜物を覚え、感謝しましょう。そして人のためにその賜物を惜しむことなく使うのです。そのときに神さまは、「忠実な良いしもべだ。よくやった」と喜んでくださり、さらに多くの賜物を与えてくださるのです。

### 桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

TEL/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nssk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannari.com/>